

商学部卒業論文執筆要領

1. 論文の執筆人数

論文提出者本人のみ（共同執筆は認めない）

2. 原稿の言語

日本語または英語

3. 論文の書式等

①書式（原則）

執筆の方法	ワードプロソフトによる横書き
用紙	A4判用紙（別紙の図・表等でA3判用紙を使用する場合、A4判になるようZ折りする）
1行の文字数	40字
1ページの行数	31行（英語は31行）
本文のみ	10000字(参考文献、注記、図表、目次、要約を除き)
上下の余白	上30mm、下25mm
左右の余白	左右20mm、紐綴り側に綴り代10mmを追加
ページ番号の位置	下部（フッター部分）、中央揃え（センタリング）

②文字数

要約(別紙)	日本語 200字以上 400字以内 英語 100words~200words
本文	日本語 10,000字以上 英語 3000 words 以上
目次	とくに定めない
注	
図・表	
参考文献	
文字数	本文の最終頁に本文のみの文字数を〇内に入れ記入する

③-1 印字のポイント、フォント(日本語)

区分	サイズ	フォント	配置等
----	-----	------	-----

主題（タイトル）	14 ポイント	明朝	センタリング
副題（サブタイトル）	12 ポイント	明朝	センタリングし、前後を—で囲む
執筆者名	12 ポイント	明朝	右寄せ
要約	9 ポイント	明朝	左寄せ
本文	10 ポイント	明朝	左寄せ
章（大項目）	11 ポイント	ゴシック	左寄せ
節・項（中小項目）	10 ポイント	ゴシック	左寄せ
参考文献等	9 ポイント	明朝	左寄せ
図・表	—	—	—

③-2 印字のポイント、フォント（英語）

区分	サイズ	フォント	配置等
主題（タイトル）	14 point	Times New Roman	センタリング
副題（サブタイトル）	12 point	Times New Roman	センタリングし、前後を—で囲む
執筆者名	12 point	Times New Roman	右寄せ
要約	12 point	Times New Roman	左寄せ
本文	12 point	Times New Roman	左寄せ
章（大項目）	12 point	Times New Roman	左寄せ
節・項（中小項目）	12 point	Times New Roman	左寄せ
参考文献等	12 point	Times New Roman	左寄せ
図・表	12 point	Times New Roman	—

4. 論文の基本構成

①項目の区分は下記のいずれかとする。

区分	区分 1	区分 2
章（大項目）	第 1 章、第 2 章、第 3 章…	1. 2. 3. 4. …
節（中項目）	第 1 節、第 2 節、第 3 節…	1. 1、 1. 2…、2. 1、 2. 2…
項（小項目）	第 1 項、第 2 項、第 3 項…	1. 1. 1、 1. 1. 2…、2. 1. 1、 2. 1. 2…

※区分 2 の場合、「はじめに」、「おわりに」などにも大項目の番号をつける。

③本文中で各項目を指し示す場合には、大項目は「章」、中小項目は直接、その項目番号を使用する。

（例）「第 1 節で述べたように……」

「2. 2 で述べたように……」

5. 文章表記

①新かなづかい、常用漢字、新字体の使用を原則とする。

②本文の句読点は、原則として、句点（。）と読点（、）を使用する。

	日本語	英語
句点	。	.
読点	、	,

③引用文等

	日本語	英語
引用文	「 」	“ ”
引用文中の引用文	『 』	‘ ’

④数字、英字の表記

	日本語	英語
原則	算用数字	算用数字
数の意味が無いものや、熟語、成句、固有名詞	和数字	ローマ数字
2桁以上の数字、英字	半角	半角
1桁の数字	原則として全角	半角

6. 注

①注記

後注（文末脚注）	原則としてどちらかを使用
脚注	
簡易注	本文中で引用箇所を表示する場合に使用可
簡易注使用時の引用箇所の表示	引用文献の著者名、発行名、引用頁（省略可）を丸カッコ（ ）で囲んで表記
	例 大塚は、次のように述べている。「……」（大塚、1964、23頁）。
	多賀（2004）によると、……
	……の背後にある（Evans and Smith, 2000, 邦訳 301 - 302頁）
	複数ある場合は、；で区切る。
例 ……である（Kenny, 1998, pp. 25 - 28 ; Smith, 2000, p.	

		32)。
--	--	------

②注番号

本文中の右肩に 1 2 3 のように付し、通し番号とする。	
例	……である ¹⁾ 。 ……としている ²⁾ 。 ……と述べている ³⁾ 。

7. 図・表の作成

①図・表は区別し、図・表それぞれで通し番号とタイトルを付ける。

②図・表のタイトルと番号の表記

形式	「図 1 タイトル」、「表 1 タイトル」	
表記の位置	表	表本体の上部
	図	図本体の下部
左右の位置	「中央揃え」(センタリング)	
出所の位置	図・表本体の下部	

③図・表の配置

配置箇所(原則)	本文中にそのまま入力・配置
別紙にする場合	挿入箇所を本文中に明記

8. 参考文献

①参考文献の記載

記載場所	末尾に一括して記載
------	-----------

②記載の順序

記載順	洋文献、和文献の順に記載	
洋文献	ファミリーネームのアルファベット順	
和文献	著者名の五十音順	
同一著者の文献	発行年順	
	2行目以下は著者名を繰り返さずに「一」を使用	
	同一発行年の文献	発行年に a、b、c、…と一連の記号を付けて区別

③文献表記の原則

〈和文献の表記例〉	
単行本	著者名（発行年）『書名』（シリーズ名）出版社。
	（例）小林和子（2012）『日本証券史論：戦前期市場制度の形成と発展』日本評論社。
分担執筆論文	執筆者名（発行年）「論文名」編著名『書名（論文集名）』、掲載頁、出版社。
	（例）寺西重郎（1993）「メインバンク・システム」岡崎哲二・奥野正寛編著『現代日本経済システムの源流』、61 - 96 頁、日本経済新聞社。
雑誌論文	執筆者名（発行年）「論文名」『雑誌名』巻号、掲載頁。
	（例）稲田公範（1980）「国法銀行制度成立の経済的意義について（1）」『商経論叢』第 17 巻第 2 号、127 - 151 頁。
ウェブページ等	執筆者名（更新日付）“ウェブページの題名”、ウェブサイトの名称、入手先、（アクセス日付）。なお、執筆者名等が不明な場合はウェブサイトの名称、URL、アクセス日付のみの記載も可。
	（例）中央教育審議会（2008-04-18）“教育振興基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－（答申）”、文部科学省、 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm 、（参照 2003-02-24）。

〈洋文献の表記例〉	
単行本 （邦訳なし）	著者名（発行年）書名【イタリック】、版次、出版地：出版社。
	（例）Allen, F. and D. Gale (2001) <i>Comparing Financial Systems</i> , Cambridge: The MIT Press.
単行本 （邦訳あり）	著者名（発行年）書名【イタリック】、版次、出版地：出版社。（訳者名『訳書名』出版社、発行年）
	（例）Stiglitz, J. E. and B. Greenwald (2003) <i>Towards a New Paradigm in Monetary Economics</i> , Cambridge: Cambridge University Press.（内藤純一・家森信善訳『新しい金融論：信用と情報の経済学』東京大学出版会、2003 年）
編著	編著者名 (Ed.)（発行年）書名【イタリック】、版次、出版地：出版社。
	（例）Friedman, J. (Ed.) (2010) <i>What Caused the Financial Crisis</i> , Pennsylvania: University of Pennsylvania Press.
編著に収載され	編著者名（発行年）論文名, In 編著者名 (Ed.), 書名【イタリック】、

た論文	掲載頁， 出版地： 出版社. (例) Summe, K. A. (2012) An Examination of Lehman Brothers' Derivatives Portfolio Postbankruptcy: Would Dodd-Frank Have Made a Difference? In Scott, K. E. and J. B. Taylor (Eds), <i>Bankruptcy Not Bailout</i> , pp.85-129, Stanford: Hoover Institution Press.
雑誌に掲載された論文	筆者名（発行年）論文名， 雑誌名【イタリック】， 巻（号）：掲載頁. (例) Diamond, D and P. Dybvig (1983) Bank Runs, Deposit Insurance, and Liquidity, <i>Journal of Political Economy</i> , 91: pp.401-419.

以上